



東京鶴丸会 会報 第25号

はろばろと

<http://www.tsurumaru.net/> 題字：内門亮子（24回卒）

2022年6月1日

【発行】東京鶴丸会事務局

info@tsurumaru.net

会長：有川 久志（38回卒）

編集責任者：待鳥 愛（38回卒）

内村真希子（42回卒）

山元 豪与（45回卒）



お問い合わせは

<http://www.tsurumaru.net/form/form.html>

東京鶴丸会の皆様、 いかがお過ごしでしょうか

会長 38回卒 有川 久志

38回卒の有川久志です。

現理事会はコロナ禍での発足となり、あつ
という間に二年経ちました。その間、一昨年
の総会・懇親会など中止になった活動もあり
ましたが、昨年は初のオンライン開催にチャ
レンジしました。他の活動についても、オン
ラインや規模を縮小したうえでの開催など、
可能な限りこれまでの活動を絶やさないスタ
ンスで取り組んでまいりました。

昨年には、課題であった情報発信・共有の
対応として、十数年ぶりに東京鶴丸会の公式
HPをリニューアルしました。スマートフォ
ン対応、SNSとの連携など、昨今のメディア
環境に即したツールになりました。これまで
以上の頻度で情報発信に取り組み、若者層を
含む幅広い年代の方へ向けて、東京鶴丸会の
活動内容を周知したいと考えております。

更に本年二月には、鶴丸高校卒業生のビジ
ネス交流の場として「鶴ビジ」を新たに立ち
上げました。講師として、味の素冷凍食品株
式会社前社長の吉峯英虎さん、アジア開発銀
行副官房長の児玉治美さんに登壇いただき、
魅力的で示唆に富む話と、お二人の鶴丸高校
時代のエピソードなど話していただきました。
私自身、とても大きな刺激を受けた次第
です。

総会・懇親会は、会員同士の交流の場とし
て楽しい空間ですが、この「鶴ビジ」は、鶴
丸高校卒業生が、働く上において役立つ情報
や繋がりを得る場として設定しております。
今回はオンライン開催でしたが、今後はリアル
な場で、名刺交換会などを加えて開催した
いと考えております。



東京鶴丸会は、1960年、鶴丸一回卒の同期
会にて関東在住鶴丸同窓会設立の声があが
り、翌年に初開催されました。1980年の第14
回からは毎年回を重ねて今に至ります。
現理事会はイレギュラーなスタートになりま
したが、「一中、一高女、夜間過程」の歴史
を受け継ぐ鶴丸高校卒業生の交流・親睦の場
を、26名の理事とともに、これからも提供し
てまいります。

一方で、本会が永続的に活動するためには
様々な課題があることも実感しています。活
動が制限されたこういう時期だからこそ、あ
らためて足元を見直し、変えるべきと判断し
たところは改革し、次の世代へしっかりとバ
トンを繋げるよう引き続き尽力いたします。

最後に、皆さまのご健康をお祈りいたしま
すとともに、三年ぶりに直接お会いできる機
会を楽しみにしております。

東京鶴丸会

最近の主な活動

4月

- ・新人才オリエンテーション
(オンライン開催)
(幹事学年42回卒)

5月

- ・会報第24号発行
- ・渋谷・鹿児島おはら祭（中止）

6月

- ・鶴ナビ（オンライン開催）

8月

- ・東京鶴丸会 総会・懇親会
(オンライン開催)

11月

- ・GO鶴セミナー
(オンライン開催)
- ・ゴルフ会 開催（規模縮小）

12月

- ・世話人会（オンライン開催）
(幹事学年43回卒)

2022年

2月

- ・鶴ビジ（オンライン開催）

5月

- ・会報第25号（本紙）発行



本紙記載の2022年度イベ
ント日程は、新型コロナウ
イルス感染防止対策のため、変
更となる可能性があります。
最新情報は、左記の公式WEB
サイト「はろばろと」などでご
確認ください。

「愛（アガペー）」という名のもとに、オンライン開催を経て次代につなぐ

第55回東京鶴丸会・懇親会準備委員長 42回卒 内山 寛紀

私たち42回生は昨年の8月21日にオンラインによる第55回東京鶴丸会総会・懇親会を開催いたしましたが、今振り返ると終始「COVID-19（新型コロナウィルス感染症）」に翻弄された幹事学年となりました。

残念ながら中止となってしまった第54回東京鶴丸会総会・懇親会の幹事であった41回生からバトンを受け継ぎ、毎年6月頃に開催されていた総会・懇親会をコロナ禍での準備期間の確保と、感染状況の鎮静化を見越して8月に「安心安全に」開催することを目標に準備を進めてまいりました。しかしながらコロナウィルスの感染状況が一向に収束の傾向を見せることもなく時は進み、理事会との協議の結果、当初予定しておりましたTKPガーデンシティ PREMIUM京橋での実会場の開催を断念し、Zoomを使用した初めてのオンラインによる総会・懇親会に変更いたしました。

コロナウィルスの感染がピークの状況の中、数少ない幹事学年での前例のないオンライン

イン総会・懇親会の準備は企画的技術的にも難しいものでしたが理事会の全面的な協力もありオンライン開催ならではの特色を活かして海外在住の方を含め多くの同窓生に参加いただきました。懇親会は前田久光校長先生のお話から始まり、各界で活躍する同窓生を紹介する動画の上映を行い、またブレイクアウトルームにて同級生と歓談したり、最後は実会場と同じように一緒に校歌を歌って総会・懇親会を締めくくることができました。

実会場での総会・懇親会の開催は叶わなかったものの、参加していただいた同窓生の皆様には学校愛、同級生愛などテーマであった「愛アガペー」を少しでも感じていただけたかと思います。開催後のアンケートにも多くの好意的な感想をいただき幹事学年といましても（色々な意味で）忘れられない総会・懇親会となりました。

オンライン開催については開催の是非を含めて多様な意見もありましたが、結果として2年連続での総会・懇親会の中止を回避する

ことができました。また普段は仕事や家庭の都合で会場参加できない会員の皆様も今回は気軽に参加できたというご意見もあり、これまであまり東京鶴丸会に馴染みのなかった会員の皆様に東京鶴丸会の有意義な活動を知っていただき、また旧知の同級生と再び交友を深めるきっかけになったのであればこの一年の幹事学年の葛藤や努力も決して無駄なものではなかったのではないかと思います。

まだまだコロナウィルスの感染状況も予断を許しませんが、近年の様々な困難な状況を乗り越え（まさに次回の56回総会・懇親会のテーマである「Beyond」ですね）今年こそは再び会場で開催できる事、そしてコロナ禍を乗り切って、また普通の日常生活が送れるようになる日を迎える事を切に願います。

最後となりますが、第55回総会・懇親会の開催に協力いただいた全ての皆様へ42回生を代表いたしまして感謝の意を申し上げます。どうもありがとうございました。



年会費のお支払いをお願いいたします

本紙発行などの
東京鶴丸会の活動費用は
皆様の年会費で賄われています

コロナ禍での新入りエンターンメント

2021年幹事学年 42回卒 三谷 啓

「新入りエンターンメント」は、関東地方の大学などに進学する鶴丸高校卒業生を対象とした歓迎会です。新生活の夢と希望を胸に上京してくる皆さんを微力ながらも支援できたことは、大学生の息子がいる私にとっても、感慨深いものがありました。

2021年度は、21/4/24（土）13:30~15:30、コロナ禍のため、初めてのオンライン開催となりました。当日は新人会員8名が参加し、東京鶴丸会からは会長他理事8名、幹事学年42回卒8名、70回卒の大学生2名が参加しました。

当日のプログラムは、東京鶴丸会 有川会

長のあいさつ、新人会員の自己紹介に引き続き、『コロナ禍でのこころのケア』について、鹿児島市立病院精神科の肝付医師に講演いただきました。（肝付君は42回の同級生です。）

「親から自己自立の確立」「対人交流と雑談の重要性」「コロナ鬱」「首尾一貫感覚」といったキーワードの講演は、新人の皆さんの新生活に大変参考になったと思います。

次に、東京鶴丸会の「鶴ナビ」紹介として卒業生の垂水菊美さん、久松彩音さんに東京鶴丸会の就職支援活動や先輩方のキャリアアッププランについてお話をいただきました。

色々な業界で活躍している卒業生の話が聞

けるのも東京鶴丸会のメリットではないでしょうか。

最後に、参加者を2班に分けてフリートークを行いました。親子ほどの世代ギャップがあって、私たち親世代の大学生活の思い出話はあまり参考にならなかつたかもしれませんが、予定時間をオーバーする盛り上がりでした。

最後に、我々の学年の拙い幹事運営に叱咤激励・多大なるご支援いただきました、東京鶴丸会の諸先輩方に感謝申し上げます。コロナがなかなか収まりませんが、次回こそは新人の皆様と一緒に会せるといいですね。

前回は2度目のオンライン開催。今回は6月開催予定！

就活支援セミナー「鶴ナビ」



「For Others」の精神で先輩方が学生の就職活動を支援するセミナーアイデア「鶴ナビ」は、2009年にスタートしました。14回目を迎えた前回は、2021年6月5日（土）に開催し、13名の学生と、約40名の社会人が参加して行われました。

新型コロナ感染防止のため、前回の鶴ナビも全てオンラインで開催し、学生や社会人には自宅などからリモート参加して頂きました。はじめに34回卒の垂水さんより「自分らしい仕事と出会うために」と題して、就職活動する上で自分自身を理解する重要性ややり

方についての講演を実施。続いて、就職先を決めるということや社会で働くということについて20代の先輩社会人3名によるパネルディスカッション、最後は、学生数名と様々な年代の社会人数名ずつ的小グループ・ローテーション形式による座談会を実施しました。

参加頂いた学生からは、「パネリストが歳が近い方々で、とても参考になることが多かったです」、「自分と関わりのなかった業界の方のお話を聞くことができて視野が広がりました」、「他のイベントでは聞けないような

ている活動だと思います。

GO鶴セミナーは修学旅行2日目の午前中に、引率なしの班単位で電車を乗り継ぎ、職場を訪問して行われます。我々担当は、職場を提供して下さる50程の事業所様を集めて、担当教諭を通じて2年生に紹介しています。各班は事業所を事前に研究し、訪問先を決めて挨拶文を書いたり質問を送ったりします。訪問先ではさらに見聞を広め、帰郷したら感想文とお札状を書きます。そこまでが彼らの『キャリア体験学習』です。受入側の事業所からはたいへん好評を頂いています。

今年の修学旅行は7/6（水）～7/8（金）、行先は東京を予定していて、可能であればGO鶴セミナーを7/7（木）午前中に行いたいとのことです。昨年同様にリモート開催になる可能性も大いにありますが、まずはリアル開催の可能性を事業所様にアンケートしています。リアル開催かリモートか現時点では不明ですが、今年も母校のために頑張っていきますので、皆様 何卒ご協力の程よろしくお願ひいたします。

鶴丸生の将来の活躍を応援しています

GO 鶴セミナー

担当理事 40回卒 西青木 光則

GO鶴セミナーは「現役鶴丸生が修学旅行で上京した際、卒業生の職場を訪問して、仕事を肌で感じたり先輩方の経験を聞いたりして『働くこと・学ぶこと』の意義を理解する『キャリア体験学習』」です。鶴丸高校2年生約320名が、6～7名の50班程度に分かれて参加します。GO鶴セミナーの担当理事になり、初年度は新型コロナウィルスの影響で中止になりました。2年目の昨年は母校と通信テストを行い、4教室40人単位で午前、午後と画面を通じてリモートセミナーを行いました。保護者の方々からも開催を望む声が多数あったようで、16事業所に協力を頂いて開催にこぎつけることができて本当に良かったです。関係者の皆様のご協力おかげと本当に感謝しております。

GO鶴セミナーの歴史を振り返ってみます。理由は不明ですが、鹿児島県の公立高校では長いこと修学旅行が行われませんでした。修学旅行が再開されたのが平成16年（2004年）で、「鶴丸高校らしさを活かした、一生の糧となるような課外学習ができるのか」との思いから、東京鶴丸会との強力タッグにより誕生したのがGO鶴セミナーです。修学旅行をただの旅行にしないところが“さすが”ですね。本セミナーは、貴重な場を提供してくださる先輩方のお陰で成り立っていて、母校とのつながりや思いを最も分かりやすく体现し

担当理事 38回卒 大高 明治

ざくばらんなお話を伺うことができました」などの感想を頂き、貴重な収穫を得た様子でした。また、まだ就活の始まっていない大学1・2年生の参加もあり、「就活に向けてとにかく動き出す、行動することが大事だということが分かりました」、「一年生の時に鶴ナビに参加して就活のイメージを持つことができてよかったです」といった声も頂きました。

2022年の鶴ナビは、6月に開催する予定です。今回もオンライン開催となる可能性が高いですが、詳細は決まり次第、東京鶴丸会のホームページ等を通じてご案内します。途中参加あるいは途中退出でも全く問題ありませんので、皆様のご都合に合わせて、お気軽にご参加ください。学生はもちろん社会人の皆様も、積極的なご参加をお待ちしております。

参加申込・お問い合わせは
tokyo.tsuru.navi@gmail.com



GO 鶴セミナー

鶴丸生の感想より

GO鶴セミナーに参加した生徒の感想です。色々と感じたようです。

=鶴丸の先輩の印象=

- ・世代を超えた交流、意見を言い合える雰囲気に魅力を感じた。
- ・先輩方がいるだけで安心感があり、親しみやすく質問に答えて下さり嬉しかった。
- ・仕事は人の役にたつために=For othersの精神が生きていると感じた。
- ・勉強と部活の両立は将来の糧となる。物事には全力で取組む。高校の仲間は大切に。

=セミナーの成果=

- ・職場に行けず残念だったが、リモートで職場を感じることができた。
- ・業界の面白さや大変さ、やりがいを知ることが出来た。
- ・社会の課題の解決への取組、自分の暮らしに先輩の仕事が関わっていることを知った。
- ・自分の夢と違う業界の話を聞いて視野が広くなった。
- ・先輩方の高校時代の話が聞けて勉強のやる気が出た。
- ・受験のその後の進路についてOB・OGのアドバイスが役に立った。



2021年のセミナーの様子

おはら祭報告

58回卒 永倉 優

昨年、5月16日に予定されていた「第24回渋谷・鹿児島おはら祭」は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、中止となりました。一昨年に続き2年連続の中止は非常に残念な結果となりましたが、昨年は開催時期を10月に延期することも検討され、主催の渋谷・鹿児島おはら実行委員会も何とか開催の道を模索した1年となりました。今年の開催日程については、まだ発表されておりませんが、首都圏でのまん延防止措置が解除されたことから開催に向け、これから準備が加速するものと思われます。(2022年3月26日現在)

東京鶴丸連は、前回開催された第22回大会で9年ぶり2回目のグランプリに輝いており、次回はディフェンディングチャンピオンとして臨むこととなります。毎年、約100名のメンバーで参加している東京鶴丸連は、他の参加団体と比べても大規模であり、指先まで動きを揃え、隊列を乱さず踊りを舞うことは決して容易ではありませんが、大人数であるからこそ、統率のとれた時には、華麗な鶴の舞



となります。

これまで参加したことのない方も、また、コロナにより鹿児島と疎遠になってしまった方も、是非一緒に東京鶴丸連として、渋谷・鹿児島おはら祭に参加しませんか。道玄坂や109前を占拠して、心行くまでおはら節を踊りましょう!!東京鶴丸連での練習日程等は下記リンクへお問い合わせください。

ope_tsururen@googlegroups.com

ちなみに、皆さん、花は霧島へ始まるおはら節はご存じかと思いますが、その前奏部

分を野球場で聞くことができるはご存じでしょうか。ヤクルトスワローズが得点を挙げるとファンが傘を振りながら「ヤーットナーソレ ヨイヨイヨイ」と歌う応援歌「東京音頭」。その前奏部分は、なんと、おはら節を元に作られたと言われており、メロディーはおはら節そっくりです。是非、プロ野球をご覧になる時があれば、東京音頭に耳を澄ませてみてください。(カープファンである私にとって、東京音頭が流れる試合展開は複雑な胸中ですが…汗)

準備はいいですか～？

2年ほどCOVID-19のため合唱団の活動は思うようにできませんでしたが、そろそろ社会活動も回復していく局面になりました。2年間個人的に合唱を続けてきた方もいらっしゃる一方で、まったく関わらずに来た方も多いです。

〈練習のご案内〉歌いやすいマスクでご参加ください。エタノール消毒液は合唱団で準備します。再開時期は別途ご案内します。

■練習日時：月1～2回、土曜または日曜の午後

■会 場：都内の公共施設が中心でしたが、練習再開時は大きめの会場を使用する予定です。

■指導・指揮：平野太一朗さん

(62回卒、東京藝術大学声楽科卒、東京混声合唱団団員)

■参 加 費：会場費、運営費として実費を徴収します

2020年実績 4,500円（練習9回）→学生は半額 余剰分は2021年に繰り越し。

お申し込み、お問い合わせは tsuru.chorus@gmail.com へ

①氏名②回卒③電話番号④メールアドレス⑤希望パート⑥合唱経験の有無をお送りください。合唱団事務局より詳細のご案内をお届けします♪

東京鶴丸会合唱団 38回卒 待鳥 愛



東京鶴丸会では、毎年親睦

ゴルフコンペを開催しております。

(過去のコンペの様子は東京鶴丸会 HP からご覧ください)

2022年は、10月or11月の開催予定であります。

老若男女&ゴルフのレベルを問わず、どなたでも大歓迎ですのにお気軽にご参加ください。

ゴルフコンペへのご参加、ご連絡は、下記アドレスにお願いいたします。

◎若手OB・OGのご参加を特にお待ちしております。

E-mail: tokyo.tsurumaru.golf@gmail.com

東京鶴丸会ゴルフ幹事

39回卒 福崎真也、39回卒 高田伸裕

photo:昨年開催場所 美里ロイヤルゴルフクラブ（埼玉県）



ありかたプロジェクト

～縦にも横にも更なるコミュニケーションを図れる会に～

ありかたプロジェクト担当理事 39回卒 高田伸裕

理事会では、理事会運営業務、定例行事の運営の他に「東京鶴丸会をより良い会にするために」などを検討するための「ありかたプロジェクト」という委員会を設けております。2021年度の大きな取り組みとしましては

- 1/新総会懇親会会場の変更と、懇親会費改訂
- 2/WEBサイトの全リニューアル

を行いました。

1は、43回卒幹事学年の皆さんと共に協議を重ね、世話人会時にご報告させていただきました内容で現在進行中でございます。世話人会時に皆様にご理解ご承認いただきましたことを心より感謝申し上げます。

2は、理事会メンバーならびにOBOGの皆様のお力添えをいただき、10年ぶりにWEBサイトの全面リニューアルを完了することができました。リニューアルにおいて、OBOGの皆さんにより情報発信をしやすいように且

つ見やすいように、そしてスマホでの閲覧が最適に表示されることを主眼に置き改善いたしました。今後も皆様からのご要望を盛り込んでいけるよう運営してまいります。

今後も東京鶴丸会が、縦にも横にも大いに繋がり楽しんでいただけるような会で有り続けられるよう、様々な視点から「ありかたプロジェクト」委員会で検討していきたいと考えておりますので、皆様のお力添えと、ご協力の程いただけますと幸いです。



PC版WEBサイト



スマート用WEBサイト

タイムリーな情報はこちらをクリック！

東京鶴丸会



東京鶴丸会公式WEBサイト「はろばろと」
<http://www.tsurumaru.net/>
さまざまな活動情報を掲載中

現役生より

かへらざる三年、そして…

今日も校舎からは、莊厳な桜島を眺めることができます。鹿児島は、最近、ようやく暖かくなり、春の知らせを肌で感じるような陽気に包まれるようになりました。

先輩方には、GO鶴セミナーを企画、実施していただき、本当にありがとうございました。先輩方が非常に多岐にわたってご活躍されている様子を知ることができて、私たちは自身の将来について、夢を膨らませることができます。

できました。憧れの先輩方へ近づけるよう、私たちはこれからも日々鍛錬を重ねていきます。

この2年間を振り返ると、新型コロナウイルスが、私たちの学校生活すべてに影響を及ぼし、悔しい思いをしたことが幾度もありました。しかし、私たちは、日々を前向きに生きています。私たちだけの青春を、かへらざる三年を、全力で走っています。後ろ向きな

生徒会長 3年 宮里慈恩

思いは、鶴丸生の間はしまっておくことにします。卒業して、いい思い出となることを信じて。これからも私たちへの温かい応援をよろしくお願ひいたします。

最後に、先輩方の日々のご活躍を、心からお祈りいたします。

鶴ビジ

OB・OGを対象としたビジネス交流コミュニティの創設

tsurumaru.net/tsrubiz/

鶴ビジとは

～その企図と第1回開催概要

これまで東京鶴丸会では、GO鶴セミナー、鶴ナビ、渋谷おはら祭、ゴルフコンペ、東京鶴丸会合唱団、そして総会・懇親会、と対象年代別に様々な活動を展開して参りました。

その中でも最大規模で開催されて参りました。

第1回鶴ビジ講演会【社会人として私が刻んだリズムとステップ】～その“原動力”とは～

講演会メイキング

～テーマ“原動力”について

スタート時に先んじて、本講演会は男性と女性にお願いする、ということが決定していました。ではどなたにお願いするか、様々な構想が巡りながらも最終的に男性は前味の素冷凍食品代表取締役 吉峯英虎さま、女性はアジア開発銀行 副官房長 児玉治美さま

第1部：キャリア&メッセージトーク編 ダイジェスト

前味の素冷凍食品代表取締役

吉峯 英虎さま

「僕のキャリアと原動力」

吉峯さまには、前半で、社会人でのご経験において転機となった三つの節目において考えたこと、また後半では、会社や事業、経営のスタイルや哲学など各トピックについて考えたこと。そして、今回のテーマである"原動力"やアドバイス、退職後のマインドについてお話をいただきました。

社会人における三つの転機の一つ目は、28歳のときに巡り合ったマーケティングの仕事。自分に合った仕事との出会い。

アジア開発銀行 副官房長

児玉 治美さま

「国際協力分野でのキャリアと外から見た日本の課題」

前半は児玉様ご提供の写真について、後半は各話題について、モダレーター：三反園哲様（日本経済新聞社）との対談形式で進行。

●アメリカの高校を卒業したときの写真

小学生時に北米在住、帰国後、中高と進学するも管理教育に馴染むことができず。

・鶴丸体育館掲示の掛け軸「良妻賢母」への違和感。

・日本での生活に馴染めず何度も家出。

→アメリカ・ミシガンに転校、卒業。

→国際基督教大学に進学、国際機構論を学びサークルで模擬国連に没頭。

●新党さきかけ/堂本暁子氏秘書時代の写真

→秘書として国際人口開発会議、北京女性会議などにも関わり国連外交を体験。

●家族計画国際協力財團（ジョイセフ）バハ

たのが総会・懇親会ですが、基本的に同窓での懇親がメインのイベントと位置付けされビジネスの話や名刺交換が憚られがちではないか、また一方では総会自体30~40代の参加率が年代比較で軒並み低いという課題がありました。そこで、試みとして、これまでに存在しなかった社会人OBOGを対象とし、講演会や名刺交換会などを行うビジネス交流のコ

へのキャスティングが決定しました。

次にどんなテーマ、構成で進行するかにおいて、講演者の方について知る過程で、ご経歴やインタビューなど取り上げられた記事など触れるにつれ、お二方ともアプローチは違えどもエネルギッシュな社会人生歩んでこられたその様が浮かび上がってきました。

元来は講演にあたり何か特定のテーマを構想しようと思い調べ始めたわけですが、自然

ミニティを設けることで、その双方に対するアプローチとなりうるのではないか、という構想により新設されたのが鶴ビジとなります。

そして、その初回開催について、本来はリアル/対面での交流会を標榜していたのですが現状の情勢を鑑み、2/19オンライン開催による講演会の形で実施いたしました。

とその行動や姿勢の源泉に強く興味を惹かれ、その"原動力"たるものはどこから来ているのか、しかも短い時間ながら端的にでも異なるベクトルでアプローチできないかということでキャリア的な側面とパーソナルの範疇の二つの面から今回のテーマ"原動力"についてお話をいただく構成になった次第です。



言葉「あなたは世界で一人しかいないのだから、あなたらしく生きなさい」や、会社で成長させてもらひながら感じたことについてのお話、及び現行世代へのアドバイス。

終盤では、退職後のマインドとして、異なる分野で一仕事をしたい、また、培ってきた判断力を色々な物にぶつけて「エセー」を書いたモンテニュのような生き方がしたいと思いま今は日本酒の本を書いている、など、最後まで、エネルギッシュな姿勢、あり方についてお話をいただきました。

→呑みニュケーションとカラオケ

・いっぱい呑んで歌って踊る、は万国共通
世界中どこのカラオケ屋にも「鹿児島おは節」はかならずある。

→マニラではボイストレーニング

・アナ雪は日本語版と英語版で
・歌って踊るEXILE/Rising Sun等多数

●外から見た日本（1）

→主要国平均賃金推移（1ドル/110円）

日本の平均賃金は424万円で35カ国中22位
アメリカ763万円、2015年に韓国にも抜かれ
アジアでも差が拡大。世界の時価総額ランキングで平成元年ではトップ5を日本企業が独占、一方で平成31年にはアメリカGAFAや中国アリババなどのIT企業が上位を占める結果に→日本の国際競争力の低下、日本は物価も賃金も上がらない特殊な状況

●外から見た日本（2）

→労働生産性の国際比較2020

日本の一人あたり労働生産性は2019年現在

でOECD加盟国37カ国中26位（時間当たり労働生産性はG7中最下位）→長時間労働の割に効率的でない

=オンラインでなく紙ベース処理の非効率さ

●外から見た日本（3）

→世界銀行ビジネス環境レポート2020年版
日本は29位。（G20中8位）

→ジェンダーギャップ指数：経済・政治・教育・医療の4分野での男女格差比較（世界経済フォーラム）：日本は156カ国中120位。（G7中最下位）=現在在住中のフィリピンは17位。充実ぶりを実感。

●外から見た日本（4）

外国人が住みたい・働きたい国ランキング（InterNations）59カ国中54位。

=独特的な文化になじめない、ワークライフバランスの悪さ、給料の低さ

→外国人が住みやすい国を作るのは課題。

●外から見た日本（5）

→朝日新聞における総記事数と国際報道記事の割合（1989-2018）

30年で大幅に減少。=全国紙は日経新聞を除きほぼ同内容、国際報道が少なく偏りを実感。

→世界報道自由度ランキング（国境なき記者団）

180カ国中67位=記者クラブ制度に問題がある海外のメディアから欧米、中国だけでなくアフリカ、ラテンアメリカ、アジア他地域について情報収集するようしている。

●日本の課題（1）

→どうすればいいか

- ・危機感を持ち意識改革を行う
- ・過去の成功体験、ブチ幸せ感からの脱却
- ・シンクタンク、市民社会組織への期待
- ・年齢、性別、国籍など多様性の尊重

●日本の課題（2）

- ・ネットワーク型雇用からジョブ型雇用へ
- ・女性のリーダーを育てること

→インボスター症候群を防ぐため幼少期からジェンダー平等教育を

・教育改革、グローバル人材の育成

・SDGs、脱炭素を掛け声だけで終わらせない

●働き方改革：国際機関からのヒント

・国際機関は完全ジョブ型雇用

・新卒でなく中途採用

・育児、介護での中断も復職転職がしやすい

・年功序列なし、能力主義

・異動や転勤は個人の希望が基本

・長期雇用が主流、は日本型メリットを取り入れ

●これまでの人生から得られた教訓

・私の原動力

→国際協力への熱い想い

→世の中の理不尽なことへの怒り

・意図的にキャリアを切り開く

→仕事以外に大切なものを守りながら自己実現できる環境に身を置く

・インボスター症候群からの脱却

→女性はハッタリでも男性と同じテーブルにつく

・無理だと思う役職や職務にも積極的に挑戦

・考えても答えが出なければ成り行きに任せると軸が崩れなければ成功の可能性大=私にとっては国際協力

・心の知能指数を高める

→優しさは真の強さ、今の政治、社会に最も求められる価値

→感情表現も時には必要

★苦しいことがあっても笑って人に接する。思いやりをもつて人に接する→笑う門には福来たる=キャリアも成功すると思います。



第2部：パーソナル&メッセージトーク編 ～鶴丸クロストーク～ビジ夫の部屋 ダイジェスト

第2部はお二方のフリートーク。切り出しお題は“酒”でした。

吉：色々な国の人たちを一つの塊にしていくための飲み方と、日本の上下関係のコミュニケーションとしての飲み方は全く違うと思いますがどう思われますか

児：違いますね。飲んだり歌ったりって本当に大事で国籍とか人種を超るために重要なことですよね。例えば職場で日韓対抗カラオケをやるんですが、韓国人は言葉が違うだけでK-POPもJ-POPも演歌も、飲み方もすごく似ていてそれだけでもわかり合えるようなところがあります。

吉：日本人の飲み方も会社とか縦のものを引きずる確認する会ではなくて横の人たちをtie-upするような飲み方に変わっていく方がいいなと思っていてcovid-19でお酒もお酒の場も変わっていくんじゃないかなと思います。

児：吉峯さんはオンライン飲み会とかされますか？

吉：オンラインでも呑みますね。本当は第2部でお酒呑みながらやろうという話もありましたが（笑）

吉：ちょっと別の話になりますが、児玉さんは徹底的ですよね、（仕事も）遊びも。

児：そうですね。キーワードは皆さんそうかなと思いますが“Work hard, play hard”じゃないですかね。“仕事も遊びも激しく”っていうことですね。私はそうです（笑）

吉：ワークライフバランスは引き算みたいになっていてこっちが多いからこっちを引いでバランス取ろう、ってなってるけどどちらも上げてバランス取ると面白いよね、と

いうことだと思うんですよね、児玉さんのお話は。

児：そうですね。メリハリつけることは非常に大事だと思います。日本人はあまりそれができていないような気がします。

吉：僕もアメリカで従業員たくさんいる中で働いてたけど、多くの人たちは6時には会社の鍵閉めるくらいの方が普通ですよね。

児：そうですね、残業ばっかりしていると逆にマイナスに思われる感じもありますよね。

吉：僕も40歳のときにヨットを始めて60歳のときに南太平洋まで行こうと思ってたんだけど忘れちゃっててね（笑）

児：すごいですね。私もジムに行って筋トレはしてますけどスポーツはそんなに得意じゃないので（笑）

吉：児玉さんにとって“鹿児島”についてはどうですか？

児：“チェストいけ！”って感じですよね。幕末維新（特に坂本龍馬）が大好きで底力を持っている“薩摩”的ホットな心は非常に大切に思っています。女性の扱いはちょっと気に入らないんですけど（笑）

吉：（笑）ちょっと意見が違うかもしれないですけど生活の面では完璧に女性の方が鹿児島って上なんじゃないの？

児：そうですね。アメリカ、フィリピン、バハマに行くときも母に背中を押されてできたりっていうのがあって“女性の強さ”っていうのが鹿児島の女性にはあると思います。

吉：そういう意味では先程、提言されていたようなことで変えていくとすごくいい社会になるんじゃない。

児：なので今日は鶴ビジ第1回で女性男性一人ずつ呼んでいただいて本当に嬉しいで

す。次回も是非頑張っている女性を紹介いただけだと嬉しいです。

吉：僕としては児玉さんみたいに僕の色を生き消すようなエネルギーある人と一緒に嫌だなと感じます（笑）

児：この後本当は、東京にいれば皆さんと飲み会に行けたのに、残念です（笑）

●質疑応答コーナー●

児玉さま宛：ワーキングマザーとしてとにかくアドバイスを頂けたら有り難いです。

児：無理をしないっていうことです。手を抜くところは手を抜くということが大事だと思います。

共通：好きな本や作者があれば教えてください。

吉：モンテーニュ著「エセー」、福原義春著「変化の時代と人間の力」

児：特に無いのですが、「読む」ということで言えばメディアで国際報道を追うっていうこと。日本のメディアだけではわからない、無視されている地域とか国情報自分から能動的に取りに行くことが大事だと思います。

次回予告

第2回鶴ビジは22年10月頃、リアル開催の予定です。

次回、是非皆様ご参加下さい！これからも鶴ビジ、宜しくお願い致します！



財政状況のご報告

会計 40回卒 相良 知昭

第55回（2020年8月1日～2021年7月31日）会計報告、財政状態につきましてご報告致します。

本部会計（会報・総会懇親会案内・本部活動など年間の活動会計）では、Webサイトの全面リニューアルを行わせていただき支出増となっております。主な収入である年会費が前年より約60万減となっております。会の運営は年会費に支えられており、会員の皆様年会費のお支払いよろしくお願ひいたします。

幹事学年会計（総会懇親会開催に関する会

計）では、総会懇親会はコロナ禍の中会費をいただかないオンライン開催となり、主な収入は総会懇親会案内の広告収入となっております。配信会場費、オンライン開催運営費がありましたが、広告収入もあり約37万の黒字となりました。

新型コロナウイルス感染症流行という大変な状況下での準備活動・初のWeb開催を行った幹事学年の42回生の皆様、広告掲出にご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

Webサイトリニューアル費用もあり、単年

度の収支は赤字となっておりますが、先輩諸氏が積み重ねて頂いた繰越金もあり次年度への繰越金は約900万円となっています。今後も中長期的に会をよりよく運営して行く為の有効活用策を理事会で検討してまいります。経過につきましては総会等の機会でご報告いたします。

引き続き年会費・総会懇親会の広告協賛のご協力お願いいたします。また寄付金につきましても通年で受け付けておりますので、よろしくお願ひいたします。

第55回 東京鶴丸会会計報告 2020(令和2)年8月1日～2021(令和3)年7月31日

支 出		収 入		
摘要	金額(円)	摘要	金額(円)	
本部会計（会報・総会懇親会案内・会の運営活動に関するもの）				
総会懇親会	案内印刷費	390,857	年会費	1,403,800
//	案内発送費	413,203	寄付金	10,000
//	世話人会関連費	26,544	雑収入	6,500
//	年会費振替手数料他	151,578	受取利息	58
「はろばろと」印刷費		126,500		
活動費（おはら祭・ゴルフコンペ・合唱団）		80,000		
鹿児島総会関連費		30,000		
Webサイト作成、運営費		893,200		
理事会運営費		65,582		
鶴ナビ・GO 鶴セミナー運営費		10,000		
通信費・振込手数料他		3,729		
本部会計 支出計	2,191,193	本部会計 収入計	1,420,358	
		本部会計 収支差額 ②	-770,835	
幹事学年会計（総会懇親会に関するもの）				
総会懇親会	会場費	160,380	総会懇親会 会費	0
//	運営費	92,948	// 広告収入	720,000
//	企画・プログラム制作費	0	// 企画販売収入	0
//	広告関連費	32,497	// 祝金・寄付金	0
//	企画販売制作費	0	受取利息	7
//	幹事学年準備会等諸費	30,644		
//	新卒生懇親会費	34,320		
幹事学年会計 支出計	350,789	幹事学年会計 収入計	720,007	
		幹事学年会計 収支差額 ③	369,218	
		今年度収支 ④ (② + ③)	-401,617	
		次年度繰越 (① + ④)	9,009,482	

名簿班

担当理事 38回卒 山崎 孝

理事会では、幹事学年の名簿班と協働して、新規入会の登録や連絡先の変更等、会員の皆様の情報を更新し名簿を管理しています。2021年より、紙、CD-ROMを介した名簿更新方法からMicrosoft365のSharePointを使用したWebベースの更新方法に移行しました。SharePointはマイクロソフト社が提供するクラウドサービスで、各回卒の世話人と名簿ファイルの共有や更新作業を安全に行うことができます。世話人の方の更新作業はすべて

Web上で完結するため、CD-ROMドライブやパソコンがなくても、タブレットやスマートフォンから名簿を更新できるようになりました。

なお、紙ベースでの更新も（当面は）継続します。最後に、総会・懇親会のご案内を確実にお届けできますよう、メールアドレスも含めて正確な情報登録にご協力をお願いいたします。

コロナ禍が始まってから2年を過ぎようとしています。今年度もオンラインでの打ち合わせを経てはろばろと25号無事に発行出来ました。

厳しい状況の中、夏の東京オリンピック、冬の北京オリンピックが開催されました。選手の素晴らしいパフォーマンスに感動するとともに、否応なくやってくる世代交代もさまざまと見せつけられ厳しさも感じました。我々もそろそろバトンパスかな？

いや、まだまだと考える日々です。
(待鳥、内村、山元)

